

(様式 1)
大阪市立十三中学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

これまでも安心・安全宣言を掲げ、信頼される学校づくりに取り組んできた。道徳心・社会性の面でも、職員が、自己肯定感を持つ生徒が増加しつつあると感じており、さまざまな教育活動の一層の充実を図る。一方、全国学力・学習状況調査（以下、「学力調査」と表す）やチャレンジテストにおいて、本校の各項目平均正答率は大阪府の平均にも及ばず、学力の向上が課題である。また、全国体力・運動能力、運動習慣等調査（以下、「体力調査」と表す）においても、部活動や各種の積極的な取組により全国平均を上回る種目も出てきていますが、さらなる伸びしろがあり、体力の向上をめざす中で安心できる学校づくりにも貢献できるものと考えている。生徒の学習環境や意欲は向上しつつあり、校内施策の充実を図ることにより、結果に結びつけることが必要である。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成 33 年度の学力調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を、9割5分以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成 33 年度の学力調査における活用に関する問題の正答率 8割以上の生徒の割合を、平成 28 年度より 5 ポイント向上させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標

- 平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 平成 29 年度の校内調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 91%以上にする。
- 平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校の年度目標

- 今年度末の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがありますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を年度当初よりも増加させる。
- 今年度末の校内調査における「学校外で暴力を受けたことがありますか」の項目について、挙がった事案に対して的確に対応した割合を 95%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 平成 29 年度のチャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと)
- 平成 29 年度のチャレンジテストにおける正答率 3 割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。
- 平成 29 年度のチャレンジテストにおける正答率 8 割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。
- 平成 29 年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、年度当初より増加させる。
- 平成 29 年度の体力調査において、特に課題である「50m走」の平均の記録を、前年度より 0.05 ポイント向上させる。[28 年度 男子 8.10 女子 9.02]

学校の年度目標

- 中学校 3 年生での英検 3・4 級程度の英語力を有する生徒の割合を昨年度以上にする。[28 年度 92.4%]
- 平成 29 年度の体力調査における体力合計点を前年度以上にする。[28 年度 男子 41.15 女子 46.03]
- 年度末における部活動入部率を 85% 以上で維持する。

【以下 淀川区役所連携事項】

- 学力調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を昨年度より向上させる。[28 年度 「寝る」 76.2% 「起きる」 95.4%]
- 年度末校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を年度当初より向上させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

年度末に記述